



ピロリ菌という言葉聞いたことがあるでしょうか？

胃に住みつく細菌で、このピロリ菌が原因で胃がんが発症することが様々な研究からわかってきました。ピロリ菌は多くの場合幼少期に感染し、ピロリ菌の感染期間が長いと慢性の胃炎を発症します。その結果胃がんを発症するわけです。今までは、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌手術後でないとピロリ菌の検査を健康保険でうけることができませんでしたが、平成25年の2月から「ピロリ菌の存在する慢性胃炎」という初期の状態でも、ピロリ菌の検査、除菌治療が健康保険内で受けられるようになりました。

さて、あなたの胃にピロリ菌は住んでいるのでしょうか……

ピロリ菌を調べるためには、まず胃カメラをする必要があります。胃がんがないことをカメラで確認するためです。

胃カメラはえらい？ 苦しい？

いいえ、大丈夫！！ 当院では鼻からのカメラ、経鼻内視鏡を使用しています。タバコより細いカメラは「おえっ！」となりにくく、鼻の麻酔もするのでほとんど痛みを感じません。

胃の状態をしっかりとカメラで確認したら、ピロリ菌の有無を調べましょう。

当院ではピロリ菌の有無を血液検査で調べることができます。

その結果、ピロリ菌がいるようであれば除菌治療をしていきます。

近年、日本人の胃がんになる人の数は、人口高齢化の影響で非常に増えています。胃がんを引き起こすピロリ菌の有無を調べることで、胃がんのリスクを減らしていきましょう。

## お知らせ

### おたふくかぜワクチン、水痘ワクチン2回接種について

2013年4月に日本小児科学会がだした予防接種スケジュールによりますと、おたふくかぜワクチン、水痘ワクチンの予防効果を確実にするために2回接種が推奨されています。

おたふくかぜワクチンは、1回目は1歳を過ぎたら早期に接種、2回目は MR ワクチンと同時期(小学校入学前の1年間)での接種を推奨。

水痘ワクチンは、1回目は1歳を過ぎたら早期に接種、2回目は3ヶ月以上あけて2歳未満に接種することが望ましい。とされています。

お子さんの予防接種スケジュールを立てる際の参考にされてみてはいかがでしょうか。

### 住民検診のご案内

本年度も5月から10月までの期間、一宮市の住民検診が始まります。日本人の死亡数第1位は、ここ数年悪性新生物となっています(厚生労働省平成24年死亡順位別死亡数の年次推移より)。しかし、がんは早期に発見、治療することで大事に至らずにすむケースも多くあります。1年に1回は検診をうけて、自分の生活を振り返る機会としていただくとよいのではないのでしょうか。

毎年10月に予約が集中し、そのために胃癌検診が受けられなかった、ということもありますので、早めの検診をおすすめいたします。

また、その他の住民検診、特定検診につきましても、お待ちいただく時間をできるだけ少なくするため、事前に電話でのご予約をお願いしています。

予約方法は、電話での検診予約、来院されての検診予約、当日に電話で順番をお取りいただく方法でも受け付けております。

尚、当日のお電話での受付は、朝9時からとなります。